END POLIO NOW

2021-2022 ガバナー月信

GOVERNOR'S Monthly Letter

8

2021 August

荻野吟子像

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

国際ロータリー第2510地区 2021-2022年度 ガバナー 大日向 豊吉

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011)207-2510 FAX(011)207-2512
E-mail:rid2510@pxva.ne.jp http://rid2510.org

2021-2022年度　国際ロータリーのテーマ

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

国際ロータリー第2510地区
2021-2022年度地区目標

「世界に奉仕を　地域には感謝を」
「不忘感謝先人偉業」

❶ RI会長テーマの理解と促進
❷ リーダー育成の観点からRLIへの参加を促す
❸ ロータリー情報の提供、広報、クラブ目標の設定などあらゆる手続きにおいて
インターネットの活用を推進する
❹ ロータリー財団、ポリオ根絶への理解を求め会員の積極的な理解を求める
❺ ロータリー米山記念奨学会の活動への理解と協力を求める
❻ 会員増強、Each One,Bring Oneの推進と「ロータリー奉仕デー」の実施
❼ クラブにおける戦略計画の立案（未来ビジョンの策定）と目標の設定を推奨する

CONTENTS

●ガバナーメッセージ …… 1
●2021-2022年度地区委員会活動画書 …… 3
●コーディネーターNEWS …… 15
●第1地域RRFC便り …… 17
●新会員紹介／インフォメーション …… 24
●ハイライトよねやま …… 25
●地区カレンダー …… 27
●米山奨学生の紹介 …… 28

攻撃は最大の防御なり

国際ロータリー第2510地区
2021-2022年度ガバナー
大日向　豊吉
（函館五稜郭ＲＣ）

７月６日	深川ＲＣ	10：00～
７月７日	留萌ＲＣ	10：00～
７月８日	羽幌ＲＣ	10：00～
７月12日	栗山ＲＣ	10：00～
	当別ＲＣ	17：00～
７月13日	岩見沢東ＲＣ	10：00～
	江別西ＲＣ	16：00～
７月14日	美唄ＲＣ	16：00～
７月15日	江別ＲＣ	10：00～
	岩見沢ＲＣ	16：00～
７月16日	地区クラブ奉仕委員会	16：00～
７月17日	第２回ガバナー補佐会議	13：00～
	会員増強セミナー	14：00～
	国際ロータリー第2510地区 ロータリー財団 「グローバル・地区補助金奨学生壮行会」 財団奨学金・平和フェロー委員会	17：30～

ガバナー補佐をはじめクラブ関係者の多大なるご協力に、まずもって感謝申し上げます。

有難う御座いました。

昨年はコロナ感染拡大の危険性からロータリー奉仕活動につきまして、ほとんど実施することが出来ませんでした。

今年はなんとか奉仕活動をしたいとの声がありますが、未だコロナ感染に怯えているというのが本音であります。

シュカール・メーターRI会長は９月12日「ロータリー奉仕デー」と決め、世界的規模で海岸線の清掃を実施しようと呼びかけております。

同期ガバナー会からの呼びかけもありましたが、如何せん動きが鈍いものですから、公式訪問の際、留萌ＲＣに気づかせていただきました。

９月12日実施できれば、時間や実施方法は各クラブ自由であります。

海岸線の無いところは川や湖沼でも差し支えありません。

ご理解とご協力の程、宜しくお願い致します。

会員増強につきましては、クラブが目標を決め、既に実行しているクラブもありますが、過疎化の進む地域がほとんどだと思います。

ロータリーには倒産寸前の会社を救った名言「四つのテスト」があります。

生みの親でありますハーバートjテーラー氏は自叙伝に「四つのテスト」は苦悩の末、神様からのお諭であったことを記述しております。

「不忘感謝先人偉業」

（「先人の偉業」をご先祖様と解釈することに意味があります。）

皆様におかれましては、今迄も・これからもロータリークラブをはじめ、職業を通じて地域に・世界に様々な奉仕活動をされていくことと思います。

皆様に、自問自答をお願い致します。

皆様は、様々な奉仕活動をされてきて「自分の人生が、豊かになりました。」と、気づいている方はおられますか？

皆様は、「ロータリークラブに入会して良かった。」と、思っておりますか？

もう一点お尋ねしたいと思います。

皆様は、「後継者育成について」考えたことがありますか？

シェカール・メータRI会長は講演の中で「奉仕するときは、誰かの人生だけではなく、自分の人生も豊かになります。」と、話されております。

豊かさを実感されている方もおりました。

また、多くの皆様が「ロータリークラブに入会して良かった。」と、思っております。

倒産寸前の会社を再生した「四つのテスト」を地域活性化にどんどん活用してください。

普段何気なく見ていた雑木林は明日ワイン用ブドウ畑に変身するかもしれません。

温泉は入浴するだけではなく知恵の出し方により化粧品やミネラルウォーターに成るかも知れません。

近くの修理工場は何時の間にか外国人が働き中古を解体して、使用できる部品は海外に輸出しているそうです。

農産物（除外品）も考えようでは生薬に生まれ変わるかも等々。

地域にはそれぞれ受け継がれている開拓精神があると思います。

攻撃は最大の防御なり

この時代を千載一遇と悟り、各グループガバナー補佐を中心に、ロータリアンが知恵を出し合い『先人の智慧を探求』し、学び、地域活性化につなげる議論を大いに重ね、地域を元気にするアイデアを誕生させてください。

その貴重な話し合いの結果を、各グループ３分程度にまとめ、地区大会において各グループガバナー補佐の皆様に発表して頂きたいと考えております。

宜しくお願い致します。

暑さが日増しに続くことと思いますが、皆様のご健勝・ご多幸をご祈念申し上げます。

2021-2022年度　地区委員会活動画書

委員長
武部　實
（札幌南RC・PG）

会員増強委員会

1．活動方針

大日向年度の地区をサポートする。

各クラブの入会勧誘資料作成へのアドバイス
各クラブの特徴を整理した、入会勧誘資料の整備が重要です。入会勧誘資料があれば、入会３年未満の会員であっても、会員増強活動に参加する事が出来ます。若い会員が若い人を誘うことにより、クラブの活性化が期待でると思います。

小冊子「ロータリークラブは何をしている団体？」の活用促進
財界さっぽろ舟本社長さんのご厚意で３年間にわたり、財界さっぽろで、毎月２ページにわたり、ロータリー活動を、無料で取り上げて頂き、福田年度で小冊子「ロータリークラブは何をしている団体？」として発刊致しました。第2510地区の全てのロータリークラブの奉仕活動と地区の活動が掲載されています。
福井年度では（世界、国内、各単位クラブの代表的奉仕活動をＡ４用紙１枚に表示）会員増強用広報チラシを作成し、小冊子と併せて全てのクラブに提供致しました。小冊子を会員増強用広報チラシと共に、地区内会員企業並びに庁舎、銀行、郵便局、病院、図書館、学校、飲食店、理美容室等、地域に広く配布され、公共イメージ向上及び会員増強につながることを期待します。

会員増強促進パワーポイントを作成
単位クラブからの会員増強卓話依頼に対しては、会員増強委員であるガバナー補佐が対応することが望ましいと思います。その為のパワーポイントを作成し事務局に管理をお願い致します。
各ガバナー補佐独自の経験による卓話はより望ましいと思います。

2．活動計画

1．2021年７月17日（土）　地区会員増強セミナーの開催
2．地区会員増強委員のガバナー補佐の皆さんと協力し、各クラブの支援を行う。
3．各クラブの優れた会員増強活動を調査し、各クラブに紹介する。
4．単位クラブからの卓話依頼は積極的に引き受け、ガバナー補佐が対応する。

委員長
國立金助
（函館ＲＣ）

地区拡大委員会

1．活動方針

地区拡大委員会は、地区ガバナーと協力して新クラブを設立できる地域を特定し、新クラブの設立を支援します。

2．活動計画

1．現在クラブがなく、新クラブの設立の条件を満たす地域があるか探査する。
2．既存クラブがあっても、新クラブ設立余地のある地域があるか調査する。
3．衛星クラブ設立を支援する。
4．Ｅクラブについて情報収集。
5．新形態のクラブの調査・研究。
6．ＲＩのロータリー未来形成（案）（Shaping Rotary’s Future：SRF）について分かり易くまとめ各種会合での情報交換・意見交換場で活用する。

委員長
福 田 武 男
（千歳RC・PG）

ＲＩ国際推進委員会

１．活動方針

2021-2022年度の国際大会は、2022年６月４日から８日までの５日間　米国・テキサス州ヒューストン市で開催されます。
ヒューストン市は全米第４位の人口を誇り、テキサス州最大の都市です。
19世紀後半に海港や鉄道交通の中心として栄え、その後油田が発見され、石油精製・石油化学産業の中心地として成長を遂げ、20世紀中盤にヒューストンには世界最大の医療研究機関やＮＡＳＡで知られているアメリカ航空宇宙局のジョンソン宇宙センターが設置され、先端医療研究や航空宇宙産業が発展するなど世界が注視する成長著しい都市です。
スペースシャトル計画のNASAジョンソン宇宙センターなどは有名で実物の宇宙ロケットを見ることのできる絶好の機会ですので、ロータリアンの皆様と夢とロマン溢れる空間を散歩し、お互いに親睦を深め、多くの皆様が大日向豊吉ガバナーとご参加出来るように活動致します。

２．活動計画

会合、ガバナー月信、ホームページ等でPRをして参加登録の推進を図る。

開催期間中には、大日向豊吉ガバナーと地区役員及び委員、参加ロータリアンの慰労と親睦を目的とした「北海道ナイト」開催企画をする。

委員長
酒 井 正 人
（函館五稜郭 RC・PG）

立法案検討委員会

１．活動方針

地区会員に規定審議会・決議審議会を周知させる

２．活動計画

１．毎年６月末締切の決議案、３年毎の規定審議会に提案できる各案の提出を促進する。
２．決議案の電子投票に対応した検討をする。

委員長
細 川 好 弘
（静内RC・PG）

危機管理委員会

１．活動方針

ロータリー活動第5であります青少年奉仕活動に安心安全な支援に尽力されていただいておりますロータリアン並びに関係者の皆様に心からの敬意と感謝を申し上げます。
青少年プログラムに参加する若者の命と安全を護る事を最優先事項とし、クラブを支援するRIJYEM（日本青少年交換多地区合同機構）の貴重な役割がありますが、第2510地区もその1社員として青少年を肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から身を護るため最善を尽くす責務が求められております。
近年、青少年・成人に対するハラスメントや世界で発生する災害がクローズアップされている事を考慮して青少年のみならず、ロータリー全体の危機管理という観点から青少年交換プログラムを始め地区並びにクラブ単独の青少年奉仕活動等に於ける安全な環境作りを支援し、賠償責任保険に地区としても加入しております。
世界に於ける親善と平和の推進に寄与する青少年奉仕プログラム安全ガイドライン、危機管理計画の策定等RIJYEMとの情報を共有しながら
第2510地区青少年プログラムの発展を目指します。

2．活動計画

1）地区、並びにクラブ単独の青少年プログラム活動計画（ガイドライン）危機管理計画の策定を要請します。
2）RIJYEM発信の情報を共有
3）委員会随意開催

※ガバナー・地区委員長・クラブ会長・クラブ委員長を対象に人格権特約付き賠償責任保険に加入しています。
※青少年奉仕プログラムによる青少年、ロータリアン、ホストファミリー等に事故が発生した場合、クラブ役員が知った時から72時間以内にRIに報告しなければならない。怠った場合、クラブ・地区への制裁がありますのでご注意下さい。
※青少年交換プログラム（2021-22年度は休止）クラブ独自の青少年交換を始め青少年奉仕事業全般にRI規定を遵守すること。違反した場合は地区の青少年プログラム２年休止、会員の除名、クラブの終結等の制裁がありますのでご注意下さい。

委員長
石 川 信 行
（札幌手稲RC）

文献資料室

1．活動方針

1．文献資料室を各クラブがより利用しやすい環境を提供するとともに、新たな文献・資料の収集方法を検討する。
2．時代に適合した文献資料室の在り方を検討する
3．事務所移転に伴い、資料の整理を行う

2．活動計画

1．貸出リストを整備するとともに、ガバナー月信を利用して情報発信を行う。
2．今後の文献資料室の在り方について、検討会議及びヒアリングの実施。

委員長
前 田 浩 人
（苫小牧RC）

学友委員会

1．活動方針

1．ロータリーファミリーであるインターアクト、ローターアクト、青少年交換、ライラリアン、ローテックス、米山奨学生、財団奨学生及びVTTを対象に、これらの学友とロータリークラブをつなげる組織として活動を支援・協力する。
2．ロータリークラブと学友のつながりを再構築することを目的に、学友のロータリー活動への参加を推進し、お互いの活動に対し理解を深める。
3．学友に対するロータリアンの理解向上のための啓蒙活動を推進する。
4．学友とロータリーのつながりを深め、学友がロータリアンになることを推進する。

2．活動計画

1．学友委員会を定期で開催する。
2．多くの学友が参加できる「学友交流会・帰国報告会」を開催し、学友相互の親睦と理解を図る。
3．ニューズレターを発行し、学友委員会活動をアピールする。
4．ニューズレターを第2510地区ホームページに学友委員会活動報告として掲載する。
5．学友に対し第2510地区大会へのブース等の参加とクラブ例会での卓話を推進する。
6．日本ロータリー学友会との交流を推進する。
7．財団学友会及び米山学友会の活動を支援する。
8．財団奨学生のオリエンテーションへの協力を推進する。

委員長
渡 邊 葉 子
（札幌西北RC）

RLI委員会

1．活動方針

RLIの理念に従い、リーダーシップの研修を通じて、ロータリーの活性化と発展を願い、一人ひとりのロータリアンがロータリーの理解とモチベーションを高め、リーダーシップを涵養すること。この目標に向かい委員会活動を行う。

2．活動計画

1．RLIセミナー開催（パートⅠ・パートⅡ・パートⅢ）
2．DL研修開催
　1　新DLの育成
　2　DLのスキルアップ
3．RLI広報を行う

委員長
北 川 好 和
（札幌幌南RC）

クラブ奉仕委員会

1．活動方針

クラブの活性化のため、クラブに寄り添った活動！

クラブの活性化を推奨していく上で、様々なクラブ事業を実施する主体たるクラブの会員基盤の強化を目指し、ロータリーの公共イメージ向上を図ることを目標する。地区公共イメージ向上委員会・地区ICT委員会・地区ロータリー情報委員会の連携を図り、クラブに寄り添った委員会活動を行う。

2．活動計画

1．ロータリーの認知度向上を目指し、クラブの活動やロータリーのプロジェクトの一般の理解を深め、またクラブへその手段の情報提供・広報を推進する。
2．前年度のアンケート結果をもとに、各クラブが何を必要としているかを把握し、必要な情報・資料等を提供する。
3．クラブにおける戦略計画の必要性を理解してもらい、「未来ビジョン委員会」の設置を推奨する。
4．MyRotary・地区ホームページ・Facebookを活用していただく上での、アクセスの強化を推進する。
5．3委員会の情報共有・連携を図り、目標達成に向けて、定期的な委員会開催を行う。

委員長
松 倉　　弘
（小樽RC）

公共イメージ向上委員会

1．活動方針

1．ロータリーを多くの人に知ってもらう事を目指し、ロータリーの公共イメージ向上と認知度向上を図るための効果的な方法について調査・検討を行います。
2．クラブが行っている活動内容を地域の人に知ってもらう手段の情報提供とサポート体制の構築に努めます。

2．活動計画

1．地区内クラブに対する情報の受発信
　ロータリー公共イメージコーディネーターとの連携
　地区委員会との連携
　地区役員との連携
　以上のことを通じて、各クラブに公共イメージ向上の情報提供に努める。
2．地区ICT委員会との連携
　地区プロジェクトや地区委員会及び各クラブの活動を外部に向けて発信すると共に、「世界を変える行動人」キャンペーンの参加とロータリーブランドリソースセンターの活用を各クラブに推進するように発信する。
3．委員会のスキルアップ
　効果的な広報の研究、ＲＩの公共イメージ戦略の把握、地区プロジェクト及び地区委員会の情報把握を行うために、定期的に委員会を開催し、情報の受発信に努める。

委員長
坂井　治
（千歳セントラルRC）

ロータリー情報委員会

1．活動方針

地区クラブ奉仕委員会との協力でクラブの基盤強化のために、クラブ中・長期計画を企画立案のできていないクラブに対しての支援を行います。
2020-2021年度に行ったアンケート調査の結果に基づき地区公共イメージ向上委員会・地区ICT委員会とも連携しクラブのための委員会活動を行います

2．活動計画

大日向ガバナーの掲げた地区目標
「世界に奉仕を　地域には感謝を」に基づき当委員会は

1．2020-2021年度に行ったアンケート調査の結果に基づき各クラブが必要としていることを再確認し必要な情報・資料等を支援する。
2．ロータリー情報の提供、広報、クラブ目標の設定などあらゆる手続きに於いてインターネットの活用を推進する
3．重要課題としてクラブに戦略計画の必要性を理解してもらいそのための「未来ビジョン委員会」の設置を推奨する。
4．各種集会の基本的考え方にあるように三密をさけるために委員会も出来るだけオンラインで行う。

委員長
堀元雅司
（札幌南RC）

ICT委員会

1．活動方針

1）地区ホームページの活用促進。
2）第2510地区内のクラブで行われている取り組みの情報の共有。
3）「My Rotary」登録サポート。
4）効果的に情報発信と情報交換のためのSNSの利用を促進。

2．活動計画

1）地区のホームページの活用する為に、リニューアルを進めたので、その活用方法と活用促進を進める。更に、各ロータリークラブの情報も掲載できるように、クラブから直接情報を掲載できるように進めて、例会情報なども発信できるようにする。
地区クラブ奉仕委員会・地区公共イメージ向上委員会・地区ロータリー情報委員会と連携させて頂き、ホームページでの、イメージ向上や情報発信の内容を検討させて頂きたい。
2）第2510地区の各クラブの情報をクラブから発信してもらい、取り組みなどの情報共有にしていく。
3）地区ICT委員会の引き続きの課題でも有るMy Rotaryの登録の推進のサポートは、続けてまいります。My Rotaryに登録することにより得られる情報や、ロータリークラブセントラルが、より有効に機能する為にも、登録の推進をお願いする。
4）国際ロータリーも推奨するSNSを効果的に使い情報発信と情報交換を促進出来るように、地区ICT委員会で作成したFacebookの会員を更に増やして、タイムリーな情報発信が出来るように進める。ガバナー補佐にも、会員になって頂きたい。

委員長
玉井清治
（函館亀田RC）

職業奉仕委員会

1．活動方針

新型コロナウィルス感染症の影響にて弱体化しているロータリークラブ会員の職業基盤維持に向けたクラブとしての活動を地区委員会が支援します。ロータリーの職業奉仕理念を正確に各クラブ職業奉仕委員長さんへ伝えることに重点を置き、卓話、フォーラム等を通じて理解を深めていただけるよう支援する。また、従来の活動に加え、ＩＣＴを活用したコンテンツの作成や委員会活動に取り組みます。

2．活動計画

計画１　職業奉仕を詳しく解説した資料の作成。テーマごとに５分間前後のYouTube動画を作成して地区ホームページ及びガバナー月信に掲載し、QRコードにて、いつでも、どこでもスマートフォンにて見られる環境を整備する。（新型コロナウィルス感染症の影響による対策）

計画２　地区のホームページに関連資料を定期的に掲載し、ダウンロードできるようにする。

計画３　クラブ個別支援。

計画４　毎月定期的に職業奉仕に対する疑問点などを個別に受け付け、ディスカッションする場「奉仕評定2510」を開設し、オンラインZoomにて自由に参加できる環境を創設する。

委員長
富岡　豊
（静内RC）

国際奉仕・ＶＴＴ委員会

1．活動方針

第2510地区 各クラブの皆様に地区国際奉仕・ＶＴＴ委員会の活動を理解していただき、国際奉仕事業へ参加していただき、現地検証などしていただけるようにサポートする。

国際奉仕事業として、タイ国やカンボジア・ベトナムなどに「水と衛生」「基本的教育と識字率」「経済と地域社会の発展」の事業を行う。地区ロータリー財団委員会と連携を図る。

2．活動計画

国際奉仕ＤＧ事業の実施

各クラブに、支援国の実情に応じたモデルプランを提供し、国際奉仕事業の参加をお願いする。

また、国際奉仕活動には各クラブからの支援を中心に、地区財団委員会や他の地区委員会の協力を得て事業をスムーズに展開する。

Ａ.『水と衛生』（WASH、手洗いスタンド事業）
　１．『WASHのセンターポイント』をタイ北東部に設けます。
　２．地域調査の上、各集落・小中学校等にWASHスタンドを設置する。
　３．設置した学校等へ手洗い指導等を行う。

Ｂ.『基本的教育と識字率（図書館、デジタルオンライン教育）』
　１．集落の図書設備や本の状況を調査
　２．実施小中学校を決定、学校と相談のうえ設置図書を決定
　３．各対象校へ本を設置

Ｃ.『経済と地域社会の発展（職業訓練事業）』
　（地元救急隊の人材育成職業訓練事業及び理美容職業訓練事業）
　１．訓練実施期間（救急隊、職業訓練校）及び対象学生の機関
　　（男子児童養護施設・職業訓練校）と訓練スケジュール概要を決定
　２．対象生徒の選出
　３．訓練実施

委員長
石本　要
（倶知安RC）

社会奉仕委員会

1．活動方針

各クラブの基盤は地域です。コロナ禍で疲弊した飲食・観光を始めとした各産業、極度の緊張状態を強いられた医療機関に対してロータリアンも地域の一員としてそれらの産業に元気を提供できる社会奉仕活動を考えていきたい。
その社会奉仕活動をサポートするため、地区内の69クラブにおける社会奉仕活動の実情を把握し、その情報を地区内会員ひとりひとりと共有できるよう、情報提供を積極的に行います。情報を共有することで、各地域やクラブが現在抱えている課題や悩み等の解決に向けたきっかけをつくり、何らかの支援を求められた場合は、クラブやグループと連携し、奉仕活動の充実に寄与するよう努めます。
また、環境をテーマに2018年に行われた「120万本の植樹－ロータリーの森」のメンテナンスの継続、各クラブでの植樹事業への支援を行います。

2．活動計画

1．コロナ禍での社会奉仕活動の研究・工夫。アフターコロナを見据えて。
2．各クラブの奉仕活動の現状を把握し、必要に応じて情報交換、情報提供を行い、クラブとの連携を図り、活動内容の改善や充実、地域ニーズに応じた新たな奉仕活動のスタート等を支援する。
3．財団委員会と連携し、地区補助金制度の積極的な活用を奨励する。
4．「120万本の植樹」事業として行った当別町・道民の森に植樹した苗木の保育（下草刈り）を年２回・造園業者の協力のもと、実施する。
5．上記、活動計画に則り、地区研修・協議会分科会を実施する。
6．新規として「ロータリー奉仕デー」にむけ各クラブへの支援。
7．　〃　各グループを訪問し３～４年をかけ「（仮）社会奉仕サミット」を開催し、他グループ、地区の活発的・先進的な取り組みを披露してもらい、パネル・ディスカッション、グープ討論会等で議論し、その後の各クラブにおける奉仕活動を活性化させる。

委員長
山口史朗
（札幌東RC）

青少年奉仕委員会

1．活動方針

1．各クラブの青少年奉仕活動支援（情報提供・企画運営補助・コーディネート）
2．青少年交換、インターアクト、ローターアクト、ＲＹＬＡの各委員会連携と情報交換
3．常設プログラムへの各クラブに対する浸透・導入を目指した情宣活動
4．コロナ禍でのロータリー行事への青少年の参加を工夫し、地区行事に積極協力

2．活動計画

1．インターアクトクラブ新設に向けた提唱クラブ支援（小樽南ＲＣ⇒双葉高等学校）ほか
2．ローターアクトの諸問題取組み（人頭分担金・年齢制限・スポンサーシップなど）
3．ＲＹＬＡ定着のためのセミナー開催支援と参加者増への協力
4．ＲＯＴＥＸの組織化と活動定着への支援
5．危機管理委員会との連携による青少年の保護
6．各クラブに対する対応力強化と情報発信
7．各クラブの青少年奉仕事業についての地区補助金申請サポート
8．各クラブ例会での卓話
9．委員会の開催

委員長
西 村 英 晃
（恵庭RC）

青少年交換委員会

1．活動方針

・派遣候補生、受入学生、ROTEXが意義ある活動ができる場を提供する。
・参加学生に青少年交換/ロータリークラブの理解を深めてもらえるオリエンテーション各行事の企画を行う。
・参加クラブに対してクラブ、カウンセラー、ホストファミリーの役割に対しての理解を深めてもらえるオリエンテーション作りを行う。
・青少年交換事業にROTEXの参加を促す。

2．活動計画

・派遣候補生、受入学生オリエンテーションを実施（全12回程度）
・参加クラブ、カウンセラー、ホストファミリー向けのオリエンテーションを実施
・受入学生歓迎会、派遣候補生壮行会、帰国報告会を実施
・秋季、冬季、春季にROTEX、派遣候補生、受入学生を対象に研修を実施
・第2500地区との交流を実施（全3回程度）
・オリエンテーションにROTEX参加を促し実体験報告、各行事への参加協力をしてもらう。
・派遣候補生、受入学生、ROTEXが参加し奉仕活動を実施
（さっぽろ雪まつり、幼稚園慰問など）
・必要に応じて地区内クラブ、高校への事業説明を行う。
・ROTEXの組織化を継続課題とし、実体のあるROTEX活動を行う。
・上記全ての活動においてCOVID-19感染拡大状況によっては中止、Zoomを利用し行う。

委員長
川 本 康 裕
（室蘭北RC）

ローターアクト委員会

1．活動方針

① 地区ローターアクト委員会とローターアクト地区メンバーとの連携を推し進める。
② ローターアクトクラブについて更に理解を深めて頂く。
③ 地区アクトの活動をサポートする。
④ ロータリーファミリーとしてのローターアクトクラブの立つ位置の変化に対応していく。

2．活動計画

① コロナ禍において、「第33回全国ローターアクト研修会」を終えて、委員会とアクトメンバーあるいはアクトメンバー間の連携の強化を確認し、更なるコミュニケーションを計っていく。「ほうれんそう」の徹底。
② 委員会を始め、各委員に集まる情報を全員が共有し、明瞭化することにより更なる効率化を計る。
③ 委員会開催にあたり、全員の参加を計る。
④ 地区インターアクト委員会と連携を計り、ローターアクトへの入会を目指す。
⑤ 新たなローターアクトクラブの創立を目指す。
⑥ RIの規定審議会により、ローターアクトに関する諸規定が大きく見直されている中、今後のローターアクトクラブのあり方や地区ローターアクト委員会のあり方を検討していく。

委員長
西 方 洋 昭
（岩見沢ＲＣ）

ＲＹＬＡ委員会

１．活動方針

RYLA委員会はロータリー、ユース、リーダーシップ、アワードの名の通り、ロータリーの青少年指導力育成プログラムとして、若い世代の多様なニーズ、地域性に合った形でセミナー開催できる委員会活動、地区内にRYLAを知っていただく委員会活動を行います。

ロータリーに関わる青少年、インター、ローター、交換留学生、奨学生、また、地域の若手リーダー候補、各企業のリーダー予備軍など、すべてのユースと関わりを持てるのはRYLAです。

RYLAセミナーを通して、指導力の育成は勿論、ロータリーの理念が、如何に次の時代を見据えたものか、どれほど君たちのことを考えているかと言う思いを、素敵な先輩ロータリアンの背中を、未来のリーダーに見て感じてもらう機会としてのRYLAセミナーを開催します。予定としては地区大会の並行プログラムが第一弾と考えています。

更に各クラブにRYLAを知っていただく為の布教活動として、１年間では難しいかと思いますが、全69クラブでRYLAを理解していただく為のお話をさせていただければと考えています。

また、ライラ学友によるチームライラを結成し、RYLAセミナーの企画運営に携われる環境整備を行います。

２．活動計画

４月～７月	新たなRYLAプログラムの企画検討、セミナーの実施計画作成
７月	RYLAセミナーの計画を告知（各クラブへの広報活動）
８月～９月	RYLAセミナー企画
10月～12月	チームライラ結成準備
１月	チームライラ結成
２月～３月	合同でRYLAセミナー企画、準備
３月	全国RYLA研究会への参加
５月	RYLAセミナー開催（宿泊研修）
６月	RYLAセミナー報告書取りまとめ

委員長
大 西 正 啓
（札幌モーニングRC）

インターアクト委員会

１．活動方針

インターアクターの健全な精神の育成に寄与することを目的とし、活動の意義を実感できる様な機会を創造していく。

２．活動計画

１．研修旅行（東北地方）
２．地区大会参加（青少年奉仕プログラム）
３．全国インターアクト研修大会参加
４．第2510地区年次大会
５．年４回の委員会開催

委員長
熊 澤 隆 樹
（小樽RC・PG）

ロータリー財団委員会

1．活動方針

地区ロータリー財団委員会（ＤＲＦＣ）は、地区の財団補助金及び寄付推進に参加するように、ロータリアンの教育・意欲喚起・啓発のお手伝いをする。
ロータリー財団とロータリアンをつなぐ連絡係として、当地区の約半数のクラブが一度も財団の資金を利用していないことを改善し、併せて早期のゼロクラブ０の達成に各クラブ、地区財団資金推進委員会と共に更に尽力する。
これまでに行われてきた種々のプログラムを、地区財団補助金委員会、地区ポリオプラス委員会、地区財団奨学金・平和フェロー委員会、地区国際奉仕・VTT委員会の各地区委員会と共にクラブへ紹介する。

2．活動計画

1．財団委員会および関連委員会の開催は少なくても２か月毎に開催し、可能な限り各関連委員会に財団委員長(DRFC)が参加する。
2．財団関連委員会と協力して､各クラブで行われる財団プログラムの実施に協力する。
3．必要に応じて関連委員会を開催します。
4．学友委員会と協力し、財団学友の積極的な財団プログラムへの参加とロータリークラブへの入会を推進する。
5．各クラブへの卓話に財団委員会委員が積極的に参加する。
6．国際奉仕への関心を深め、地区国際奉仕・VTT委員会と共同で各クラブの人道支援奉仕活動への参加を推進する。

委員長
大 川 武 志
（恵庭RC）

財団補助金委員会

1．活動方針

・ロータリー財団と地区の規程、方針に基づき活動します。
・Zoom等を利用しオンラインで委員会を実施します。
・申請作業等の事務作業をファイル共有し分担します。
・2020-2021年度37クラブの実績を上回る様に積極的に働きかけをします。
・2021-2022年度補助金上限額は、＄107,156程度の予定です。

2．活動計画

<財団補助金の承認ルール>
1．1クラブ１プロジェクトの申請とします。
2．3年前の年次寄付金の25％を上限額とします。
3．年次寄付金拠出年度末現在19人以下の小規模クラブで年次寄付金の25％が10万円を下回る場合は補助金を10万円とします。
4．上限額は50万円とします。
5．申請書の提出(補助金プログラム、補助金振込先口座、見積書)申請締切2021年5月31日
6．MOU（覚書)の提出。

委員長
松 原 重 俊
（砂川RC）

財団奨学金・平和フェロー委員会

1．活動方針

国際ロータリーとロータリー財団の指針に沿って、ロータリー財団の奨学生として相応しい奨学生を海外に送り出せるよう、研修および選考のシステムを構築し、ロータリーの重点分野や世界平和を通じて活躍し未来に繋いでいけるようサポートに努めていく。
更には、留学期間が終わった後も様々な支援をし、当地区での報告の機会等を頻繁に設け、地区内ロータリアンの皆様への財団奨学金の啓蒙活動にもつなげていく。
更には､財団学友となった奨学生達が将来ロータリアンになって頂けるよう努めていく。

2．活動計画

1．募集選考準備
2．財団への申請準備
3．出発する奨学生者の壮行会準備
4．候補者の募集選考・面接
5．選考された候補者への説明会（今後の予定説明・誓約書の授受等）
6．壮行会準備・実施
7．報告書・レポートの確認と配信
8．帰国した奨学生による報告会　プレゼンテーション（財団学友会への協力）
9．各クラブでの卓話や地区行事での財団奨学金についての広報活動

委員長
長 沢 祐 純
（札幌幌南RC）

ポリオプラス委員会

1．活動方針

①ロータリーが行ってきたポリオ根絶活動を引き続き推進する。ポリオワクチン接種の意義を、ロータリー会員・地域社会に発信する。
②ポリオ根絶活動に対して地区グループ・クラブに理解を求め、募金活動やイベント活動を通して地域社会に発信することをサポートする。
③ポリオ根絶活動を通してロータリーの公共イメージの向上をはかる。

2．活動計画

①会員一人30ドルのロータリー財団ポリオ根絶寄付目標について、会員の理解と協力を促し、年間1500ドル以上の寄付にクラブ表彰を受けることを広報し、地区目標達成に努力する。
②世界のポリオ撲滅活動の近況情報を地区ホームページに掲載し、卓話や研修などを通して地区内の理解を深めていく。
③ローターアクトと連携して、ポリオ根絶活動を行う。
④地区大会に於いてポリオ委員会ブースを設置し、広報と根絶活動の推進に努める。
⑤会員一人30ドル達成のクラブに対しポリオ委員会より達成記念バナーを贈呈する。

委員長
米谷龍三
（札幌東RC）

財団資金推進委員会

1．活動方針

今期の活動方針として、現在、世界中に猛威を振うコロナ禍の中に於いて如何に我々が対処して活動を推進していくかが問われております。
2021-2022年度のシェカール・メータRI会長が掲げる達成が困難と思われる会員の10万人増の目標に呼応し、私は次のような目標を掲げました。

1．AKS（アーチ・クランフ・ソサエティ：大口寄付）の寄付者の増員
日本に於けるRC全会員のうち第2510地区では僅か２名、第2500地区も２名を数え、全国では43名です。（2021年６月末現在私の３年間の任期中にできれば最低１名、３名以上のメンバーを増やしたいと願っております。なお、参考までに全世界のメンバーは総計1073名です。（2020年４月30日現在）
2．地区財団資金推進委員会の開催
会員同士がZoomを利用して親睦を兼ねたミーティングを開催する予定です。私も含め、財団の活動をより深く知る為に実行致します。

2．活動計画

1．AKS（アーチ・クランフ・ソサエティ：大口寄付）の増員計画を具体的に移すには、まず全会員に対する啓蒙から始める必要があると考え、WEBの活用を検討しております。現在の状況は残念ながら多くの会員がAKSの内容を知る機会に恵まれておりません。従いまして多数のロータリアンが認識を深めてから各クラブの財団の責任者より候補者を発掘し、懇請する事でより成果が上がることを期待しております。
2．寄付者ゼロのクラブをいかに減少させるか。今年度は特にコロナ禍による影響が懸念され推進委員全員による各クラブへ働きかけを積極に行います。
3．本部のEMGA（恒久基金・大口基金アドバイザー）は世界で41名、日本では４名が所属しております。この方々と常に密接な関係を保ち、適格なアドバイスを受けながら活動して参ります。

委員長
佐藤竜也
（北斗RC）

米山記念奨学・学友委員会

1．活動方針

①米山記念奨学事業へのご理解とご協力を推進します。
・事業の目的の周知徹底
・年間寄付目標：16,000円（普通寄付：4,000円、個人寄付：12,000円）
上記の目標達成のため、各クラブ、各クラブ会員へのご協力を依頼する。

2．活動計画

・地区委員会の開催は、６回を開催する。
・米山奨学生、米山学友との連携を活発にする。（ボランティアなど）
・米山奨学生及び米山学友の卓話を依頼し、米山奨学会への理解と支援（寄付）を募る。
・地区委員が協働して、地区内クラブとの関わりを深める行動を実践する。
※米山記念奨学会の説明ツール（パワーポイントなど）を活用する。
・研修旅行（宿泊または日帰り）を９月に開催（カウンセラー研修同時開催）
・サブ世話クラブの推進（世話クラブ困難な遠隔地のクラブとする。
※奨学生の交通費の一部として、年２回分10,000円を補助する。
・寄付額目標を全国平均に近づける（個人寄付：12,000円、普通寄付：4,000円特別寄付：10,000円）を目標
・地区の寄付実績割合を39.8％から50％に引き上げる。

Rotary
Region 1 & 2 & 3
コーディネーター NEWS
2021年8月号 No.1
発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

会員増強・新クラブ結成推進月間

コロナウイルスの感染が、ウイルスの変異が止まらず収束を見せない状況の中、新年度がスタートしました。一昨年12月から１年半が経過しましたが、昨年度のガバナーはこの新常態に対応すべく果敢に新しい地区運営に尽力され、文字通りホルガー・クナーク前RI会長テーマ「ロータリーは機会の扉をひらく」を実践してこられました。３大研修やクラブ公式訪問もリアル、オンライン、ハイブリッドなど工夫を凝らして開催されました。地区大会も中止の判断をされた地区もあり、リアルで開催できた地区は限定されました。また、楽しみにしていた台北での国際大会も２年連続でバーチャルでの開催を余儀なくされ、地区内会員が一堂に会し、日ごろの活動を振り返り、アイデアを交換し、友情を確かめ合い、親睦を深めることも思うようにできませんでしたが、新しいアイデアのもと様々な奉仕活動やクラブ・地区運営などが実践され、今年度につながるものと期待しています。クラブにおいても同様でしたが、いち早くこの新常態に合わせたクラブ運営に切り替え、従前より活発に活動をされているクラブも数多くあります。オンライン例会ならではの利点を活かし、卓話講師の枠を拡げたり、ネットワークを活かしてクラブ、地区を超えた奉仕活動を実践されているクラブも数多く見られます。2680地区大会はバーチャルでしたが、サプライズ演出で花火1000発を打ち上げられ、閉塞感の強い地域社会に一服の清涼感をもたらし、NHK関西にて取り上げられ、公共イメージの向上に大きな役割を果たしました。また、2750地区ではポリオ撲滅JAZZチャリテイコンサートを開催し、大きな寄付を集めることに成功し、この取り組みもNHK関東で取り上げられました。さらに2510地区大会はバーチャルでしたが、工夫を凝らし、YouTubeにて地区大会の裏番組ともいうべき、解説とゲストによる対談などを放映して地区内会員に対してロータリーの知識や楽しみ方などを伝えることが出来ました。困難な状況のなか、このように積極的にアイデアを出し合い前に進んでいく姿勢こそ、今最も必要とされていると思います。それには、地区においてはガバナー、クラブにおいては会長の強い思いとリーダーシップが不可欠です。地区もクラブもこの新常態に合わせ、ビジョンを持ち行動することが求められています。夢のある者、目標があり、目標のある者、行動があるという言葉がありますが、ロータリーでも同じことが言えると考えます。クラブにおいては、会長のリーダーシップのもとクラブ会員全員参加で行動計画を作成し、実践・行動していただきたいと考えます。改めて言うまでもなく、８月は会員増強・新クラブ結成推進月間です。活発な活動を通じて良い仲間を迎え入れましょう！

第２地域　ロータリーコーディネーター　水野　功（東京飛火野RC）

Rotary
Region 1 & 2 & 3
コーディネーター NEWS
2021年8月号 No.2
発行：Region 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター

７つ目の重点分野「環境」

みなさんは、ロータリーの６つの重点分野に７つ目として「環境」が加えられたことをご存知でしょうか。今年度からこの分野のプロジェクトもロータリー財団のグローバル補助金申請の対象となっています。

６月号の『ロータリーの友』によると、このことが発表されたのは2020年６月でしたが、マーク・マローニー元RI会長は当時を振り返って、「ロータリアンやローターアクター、一般の人々を対象とした調査によると、「環境」が関心事のトップ５に入っていて、特にロータリーの候補者といえる一般の人々には、「環境」は第一に取り組むべきこととなっていました。」と述べていらっしゃいます。

「ロータリーのビジョン声明」を達成するための「行動計画」には四つの優先事項がありますが、そのうちの一つは 「参加者の積極的なかかわりを促す」となっています。会員の関心が高い「環境」が重点分野に入ることは、会員の参加意欲も沸いてくるわけで、「行動計画」の目指すところとも一致することになります。クラブが「環境」にかかわる奉仕プロジェクトを実施することで参加者が増えれば、クラブの活性化につながります。みなさんのクラブでも、「環境」にかかわる新しい奉仕プロジェクトをスタートさせることを視野に入れてみてはいかがでしょうか。日本がプロジェクト実施国となって行えるグローバル補助金プロジェクト実施の可能性も、他の重点分野に比べて高いように思います。

重点分野に「環境」が加わることは、ロータリーの公共イメージ向上の上でも、「世界を変える行動人キャンペーン」の展開に大きなプラスとなります。ロータリーは何をしているのですか？という問いに、ポリオ根絶や紛争の解決、教育支援に加えて、「環境」にも取り組んでいることがわかれば、ロータリーをより身近に感じ、共感を持つ人が増えるだろうと思われます。

ロータリアンは「他者を思いやる心」を持って行動しています。その「他者」とは、たまたま隣に居合わせた人、仕事で関わる人々、自分の身近な地域社会の人々、この地球上に同じ時代に生きるすべての人々だと思っています。しかし、地球の環境を考える時、そこには私たちの子供、孫の世代、さらには何世紀も先の未来の人々も含まれるのだと気づかされます。わたしたちが目指す持続可能なよい変化は、地球の未来に続く道となります。

第２地域　ロータリー公共イメージコーディネーター　服部　陽子（東京広尾RC）

第1地域 RRFC便り 7月号

お知らせ

【7月1日 三木明 2021-25年 TRF管理委員が就任されました】

三木明 2021-25年 TRF管理委員
姫路ロータリークラブ

「第１地域の皆さま」

本年度より４年間財団管理委員を仰せつかりました三木明でございます。

第2680地区、兵庫県の姫路ロータリークラブに所属しております。

新しい年度が始まり、皆さまは心新たにスタートラインを切られたことと思います。先年度は新型コロナウィルス感染症に翻弄され、ロータリー活動に大きな支障がありましたが、その中でもロータリアンの皆さまから財団への力強いご支援を頂きましたこと、本当にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

さて、皆様良くご存知のとおり、ロータリー財団は**「世界でよい事をしよう」**を合言葉に世界中で人道的奉仕を続けております。

「世界のどこかに一人でも不幸な人がいる限り私たちロータリアンは幸せになることができない。心の中に火を灯そう」

とニティッシュ・ラハリー元RI会長が話された言葉を思い出します。

ロータリー財団には、ともすればお金の話が付いて回りますが、ご支援いただいたその向こうには子供たちの明るい笑顔が見え、安心して学べる環境を得ることができる若い人びとがいることを思い浮かべてください。

人々の健康と安全を守り、ロータリーの究極の目的である平和を構築するために、皆様からのご支援が必要とされています。どうか財団に関心を持って下さり、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

■RRFCからのお知らせ
日本の財団目標について

2021-22度
ロータリー財団地域コーディネーター（RRFC）
第一地域　羽部　大仁　habu@honganji.or.jp
第二地域　服部　良男　ceo@hattori.org
第三地域　永田　壮一　sochan0001@me.com

私たちは、分かり易く、使いやすい「みんなのロータリー財団」を目指し、補助金プロジェクトをサポートし、そして補助金への参加と補助金を活用して地域社会に変化を生む活動の推進へのお手伝いをします。
さて、ジョンF.ジャームロータリー財団管理委員長エレクトは、国際協議会の講演で『私にとって「知性ある心」とはロータリー財団ことです。ロータリー財団は、世界でよいことをするために、超我の奉仕をするために、そして未来の世代にとって世界をより良い場所にするために、ロータリアンに数え切れないほどの機会を提供して活動しています』と述べられています。ロータリアンみんなの財団なのですから、その存在価値が問われているのです。会員一人一人が関心を持って「世界で良いことをしよう」として始められた「みんなのロータリー財団」に更なるご支援（ファンドレイジング）と新しい補助金プロジェクトへの挑戦をお願いいたします。RRFCへのお問い合わせご相談をお待ちしております。
そして日本のロータリアンが結束して年次基金寄付ゼロクラブゼロを達成しましょう。昨年度の実績を踏まえて話し合った結果、次年度の日本の目標を次の通りといたします。

■年次基金
- １人当たり150ドル（日本全体で1,350万ドル）
- 年次基金寄付ゼロクラブ０達成を継続する
- EveryRotarianEveryYear(年次基金への寄付)の推進
- ポール・ハリス・ソサエティの推進

■ポリオプラス基金
- １人当たり30ドル（日本全体で270万ドルまた、1,500ドル以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。）

■恒久基金
- 冠名基金を各地区１件以上設立

■大口寄付
- 寄付の種類にかかわらず、１万ドル以上のご寄付を日本全体で100件
- AKSを日本全体で10名増やす

■DDFの活用
中期目標として、２～３年で「AKS０地区」ゼロを目指す
- DDFの20%をポリオプラスに寄贈
  DDFの20%をポリオプラス基金へ寄贈した地区と、1,500ドル以上の寄付をしたクラブには、ロータリー財団から感謝状が贈られます。
- ロータリー平和センター、重点分野への寄贈「日本ロータリー平和センター基金(E11659)」の累計が150$に達すると、毎年この基金からロータリー平和フェロー１名支援できます。

■補助金
- 各地区がDDFを使い切る
- グローバル補助金・地区補助金の活用の促進
- ロータリー平和フェローシップの促進

■ロータリー財団の目標

第一の優先事項は、勿論ポリオ根絶です。第二の優先事項は、2025年までに恒久基金を20億2500万ドルとし、年次基金とポリオプラスへの寄付を増やすことです。そのために、包括的なファンドレイジング目標を４億1,000万ドルに定めました。第三の優先項目は、ロータリーの補助金によってもたらされる測定可能なインパクトを高めることです。
（ジョン・ジャームTRF管理委員長:
ロータリーの核心より抜粋）

■世界の寄付目標内訳

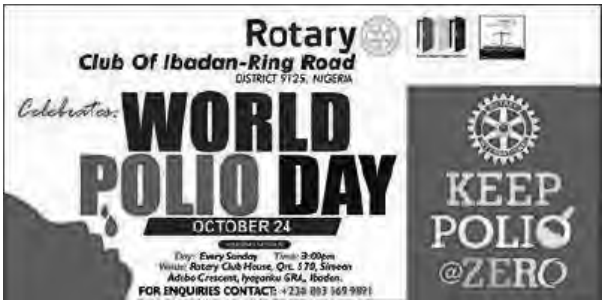
世界の寄付目標内訳	
年次基金	1億2,500万ドル
ポリオプラス基金	1億5,000万ドル （ゲイツ財団からの上乗せ含む）
恒久基金	9,500万ドル （2025年までに20億2,500万ドル）
その他の基金	4,000万ドル
合計	4億1,000万ドル

＜ポリオ根絶はロータリーの最優先事項です＞

■ポリオの歴史

研究者によると、1963年以来、ワクチンによって命が救われた人の数は約1,000万人に上ると推定されています。ロータリー会員はワクチンの効果をよく知っています。経口ポリオワクチンのおかげで、1988年以来、野生型ポリオの発生件数は99.9%減少しており、現在、野生型ポリオによる発症が報告されているのは世界でわずか２カ国のみとなっています。新型コロナワクチンが世界中で配布されつつある現在、ロータリーと世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）のパートナーが培ってきた経験と知識が新型コロナへの対応に役立っています。ロータリー会員は、ポリオ根絶活動で行ってきたのと同じ方法で、新型コロナワクチンの導入を支援しています。それらは、各地でのワクチン接種に対する認識向上、保健員への支援、誤った情報やワクチンに対するためらいへの対応、特に支援を必要とするコミュニティにおける公平なワクチン配布の提唱といった活動です。クラブは、地元保健当局や、世界保健機関（WHO）やユニセフなどの機関（該当する場合）と国レベルで協力できます。毎年４月の最終週にあたる「世界予防接種週間」は、今年は特に重要な意味をもちます。新型コロナの世界的流行を食い止めるために、世界が予防接種に注目する今、命を救うワクチンの歴史を振り返ってみましょう。

新型コロナウイルスに対応するためにクラブや地区で行っている活動を、ロータリーショーケースでご紹介ください。国際ロータリーの活動について詳しくは、Rotary.orgをご覧ください。



（このポスターはナイジェリアでの活動を紹介したものです。ロータリーショーケースより転載しております。）

■第１地域佐々木昌敏 ARRFC寄付ゼロクラブゼロの対応について

佐々木昌敏　第1地域ARRFC
第2560地区PDG

最近の人間社会は、コロナというウイルスの前に屈服し、なおかつ克服する方法まで、やれマスク、やれ三密回避、やれ手指の消毒、やれ換気が必要と振り回されざるを得ない状況であります。従ってロータリー活動も、例会・緒行事を中止！中止の連続で、極めて不十分な状況を余儀なくされています。その中で年次基金ゼロクラブゼロを達成する目標は継続されて今日に生きています。クラブ会長さん、財団委員長さん、そして地区財団委員長さん委員の皆様におかれましては、お願い申し上げにくい寄付推進（ファンドレイジング）にご尽力を戴きましたことに心より敬意と感謝でございます。
本当に有難うございました。

①財団月間では、地区財団委員の皆さんには、各クラブへ出掛け、財団と寄付の関係についての卓話や質問に対応され、クラブと地区の関係強化に取り組んでおられることに御礼申し上げます。
②財団セミナーでは、寄付額の中間実績を公表しながら、寄付額と地区補助金が３年後に地区に戻ってくる仕組みや、そして年次基金寄付ゼロクラブゼロの目標について地区財団委員会を悩ませ続けている事に御礼申し上げます。
③ロータリー年度末にあたる６月には、未だ年次基金ゼロクラブへファンドレイジングの働きかけ、送金日、送金方法まで注意深くお手伝い、ご案内しながら目出度く年次基金寄付ゼロクラブゼロが連続して達成されることに深い喜びと感謝を申し上げます。

ロータリー財団のファンドレイジングは、他の様々な組織の実情と同じように、一朝一夕に作り上げることはできないものです。我々ロータリー財団には、このファンドレイジングの先に、世界平和の推進、ポリオ根絶という使命があります。これからもこの使命に向かって元気に例会に出席したいものと思っております。今年も宜しくお願い申し上げます。

■RRFCの役割と2021～22年度の目標について

RRFCは、ロータリー財団の補助金と資金管理、およびポリオプラス、ロータリー平和センターを含む財団プログラムのためのファンドレイジング（資金推進）を支援します。

１）ロータリーの最優先事項であるポリオ根絶を達成するため、ポリオプラスへの支援をロータリアンに促す。
２）ロータリー財団への寄付（特に年次基金への寄付）に関してクラブと地区に支援を提供する。
３）ロータリー補助金についてクラブや地区に情報を提供する。

以上がロータリー財団地域コーディネーターの役割と責務となっています。

2021-22年度第1地域RRFCの目標設定です

１．ポリオ根絶コーディネーター（EPNC）と協力し、地区財団活動資金（DDF）の使用を奨励しながら、ポリオに寄付するクラブの数を___%（少なくとも10%）増やす。ポリオプラスへの寄付の増加に関するターゲットをご入力ください:10

「私はRRFCに就任以来、常に財団チームとしての活動を心掛けています。2021－22年度は最終年度になりますので、特に担当各地区に積み上げられDDFを計画的に又効果的に活用出来るように早い段階から推奨していきたいと考えています。数値目標は10%ですが、達成に向けて各地区のガバナー・財団委員長・ガバナーエレクトに働きかけて行きます。」

2．地区リーダーと協力し、担当地域における年次基金への寄付総額を___%（少なくとも３%）増加させる。年次基金への寄付の増加に関するターゲットをご入力ください。: 5
「年次寄付への取り組みはRRFCとしての大切な目的です。コロナ禍で厳しいクラブ運営を強いられている現状を各地区各クラブがアイデアを出し合って今を支える年次基金は大切な補助金の原資になるものであることを強く各地区へ第１地域RRFC便りなどを活用して要請して行く戦略を立てています。」

3．地区リーダーと協力して、より多くのクラブがグラーバル補助金の提唱や寄付を通じて補助金に参加できるようにするための戦略を_つ(少なくとも３つ)立案する。より多くのクラブが補助金に参加するために立案する戦略のターゲット数をご入力ください: 3
「グローバル補助金事業について、就任以来各地区・各クラブにその取り組みについて立案ガイドも示しながら推奨しています。次年度も各地区ガバナー、地区財団委員長、地区ガバナー・エレクトに毎月「第１地域RRFC便り」を送信して、グローバル補助金が効果的に、継続的に、目的が達成されるために最大の努力を傾注していきたいと考えています。」

4．ポリオ根絶活動、補助金、ロータリー平和センター、重点分野といった財団活動を___つ
(少なくとも８つ)広く紹介することで、ロータリーのインパクトに対する認知を高める。広く紹介する財団活動の数をご入力ください: 8
「来たる６月27日、28日の両日日本の３地域が「クラブ活性化セミナー」を開催します。我々財団チームはこのセッションでRPIC（公共イメージコーディネーター）と協力してセッションを企画しています。RPICの協力も得て財団活動の取り組みについて広くイメージ向上に繋がれば良いと考えています。」

5．各地区の地区リーダーと協力して、地区財団活動資金（DDF）の使用を___%（少なくとも５%）増やす。DDF使用の増加に関するターゲット数（すべての地区を含む平均値）をご入力ください: 5
「財団の資金モデルが変更されたことを良い機会に捉えて各地区が未使用のDDFを様々のプログラムに活用されることを伝える考え方です。そのための資料・リソースを紹介して参ります。」

6．補足資料（目標のための戦略テンプレートなど）をアップロードする場合は、以下でアップロードしてください:未使用
.

7．質問、リソースの要請、サポート、コメントがあればご記入ください。

「私は就任以来、毎月末にはRRFC便りでご迷惑をお掛けしております。これによってロータリー財団の仕組みや補助金に関する理解を深めることができると思います。最終年度になりますが、「**みんなのロータリー財団**」の理解が各地区・各クラブに浸透するように努力する覚悟です。」
(以上が第１地域のRRFCとしての年度目標設定です。ご理解ご協力をお願いします。)

■ローターアクトクラブの補助金への参加

2022年７月より、ローターアクトクラブは、地元や海外での奉仕活動を支援するために、ロータリー財団の地区補助金やグローバル補助金を申請することができます。地区は、ローターアクトクラブの補助金活動への参加の記録を整理し、補助金管理セミナーやその他の財団関連の研修にローターアクターが参加して、申請するための資格が得られるように備えます。また、ローターアクターの参加を促すため、地区内の寄付の推進やDDFの配分方法について変更するかどうかも検討します。５月の「寄付推進＆補助金ニュース」もご参照ください。

▶参加資格認定ローターアクトクラブがグローバル補助金の協同提唱者となる資格を得るには、地区から参加資格認定の承認を受ける必要があります。必要とされる主な要件は以下となります。追加条件および地区補助金の参加に対して参加資格認定を求めるかは、地区の裁量となります。

- 補助金管理セミナーへの出席
- 覚書（MOU）の提出（書類はまだ準備中です）

▶グローバル補助金の申請

- グローバル補助金を利用したプロジェクトでロータリークラブまたは地区と協力した経験があること

（ローターアクトクラブの補助金プロジェクトへの参加を記録するのは地区の責務です。）

- 地区から参加資格認定を得ていること
- 提唱者の一方は、ロータリークラブまたは地区であること（ローターアクトクラブ同士での申請はできません）
- 2022年７月１日から申請書を作成開始できる
- 提唱者の代表者の承認は、手続き時のローターアクトクラブの会長が行う
- 補助金を受領する場合は、ローターアクトクラブの補助金専用口座が必要となる
- ローターアクターが、奨学金または職業研修チームのメンバーとして研修を受けることは可能だが、所属する

ローターアクトクラブがそのプロジェクトの提唱者になることはできない

▶その他の補助金

- 地区補助金

地区は、2022年1月から、地区補助金の申請書の使用計画で、ローターアクトクラブを提唱者として選択し、補助金を配分することができるようになります。地区補助金の場合も、ローターアクトクラブが補助金を受領する場合は、ローターアクトクラブの補助金専用口座が必要です。

- ローターアクトクラブは、ロータリー災害救援補助金及び大規模プログラム補助金を申請することはできません。

（この記載は財団NEWS６月号から抜粋して掲載しています）

■向日葵の絵と川端茅舎の句

川端茅舎の句を紹介します。以前に紹介した虚子の弟子です。ホトトギスにも参加して川端茅舎句集を創刊する折に、師匠の虚子から送られた『茅舎句集』創刊の辞を大変喜んでいました。（※別記す）

『向日葵の眼は同然と西方に』の句は茅舎が京都東福寺の正覚庵に籠もって、絵や句の制作に勤しんだ頃、仏道にも深く傾倒したことが窺えます。その後高浜虚子の愛弟子となり、1934年ホトトギスの同人となりますが。しかし、肺炎の悪化で43歳の生涯を大田区池上の自宅で終えたのでした。

（川端茅舎は虚子の弟子）

さてこの句を窺って観ると、向日葵は一日中太陽を探してその中心にある目玉のような部分がよく見ると目玉のように見えてきます。
太陽が東の空から昇り、西の空に沈むまでこの目玉で太陽を追い求めるのです。向日葵には多くの呼び名がある。一番印象的なのは日輪草です。太陽の光をぐるぐると回って過ごす様を表現しているように思います。仏教では法輪とか光輪と呼んでいます。浄土真宗の親鸞様は浄土和讃の始まりに「弥陀成仏のこのかたはいまに十劫をへたまへり法身の光輪きはもなく世の盲冥をてらすなり」この光輪は光の仏様を表す言葉で、智慧の光明と名付けています。仏教は慈悲と智慧です。慈悲は慈しむ心を現し、智慧は暗闇を照らす光を表現しています。少し手前味噌な話になりました。
坊舎の日輪草は、まさに我々衆生を導き西方の浄土を勧めているのでしょうね。未だ決めかねていますが向日葵は西に向かって咲いています。
眼は同然（とうぜん）とは、何かうつろな状況をさしていると思われます。はっきりと決めていない心の模様のようにも感じます。
最後に高浜虚子が送った発刊の言葉を紹介します。※『茅舎句集が出るといふ話をきいた時分に、私は非常に嬉しく思った。親しい俳友の句集が出るといふ事は誰の句集であっても喜ばしいことに思へるのであるけれども、わけても茅舎句集の出るといふことを聞いた時は最も喜びを感じたのである。それはどうしてであるかといふ事は自分でもはっきり判らない。
茅舎君は嘗ても言ったように、常にその病苦と闘って居ながら少しもその病苦を人に訴へない人である。生きんが為の一念の力は、天柱地軸と共に、よく天を支へ地を支へ茅舎君の生命をも支へ得る、測り知れぬ大きな力である。
茅舎君は真勇の人であると思う。自分の信ずるところによって急がず騒がず行動している。
茅舎君は雲や露や石などに生命を見出すばかりでなく、鳶や蝸牛などにも人性を見出す人である。

露の句を巻頭にして爰に収録されている句は悉く飛び散る露の真玉の相触れて鳴るような句許りである。
（羽部記）

新会員のご紹介

（敬称略）

千歳RC
植 松 只 裕
令和3年7月8日
ハンドリング･旅客サービス

小樽RC
尾﨑 伊智朗
令和3年7月6日
電力供給

伊達RC
長 尾 圭 祐
令和3年7月6日
電力製造業

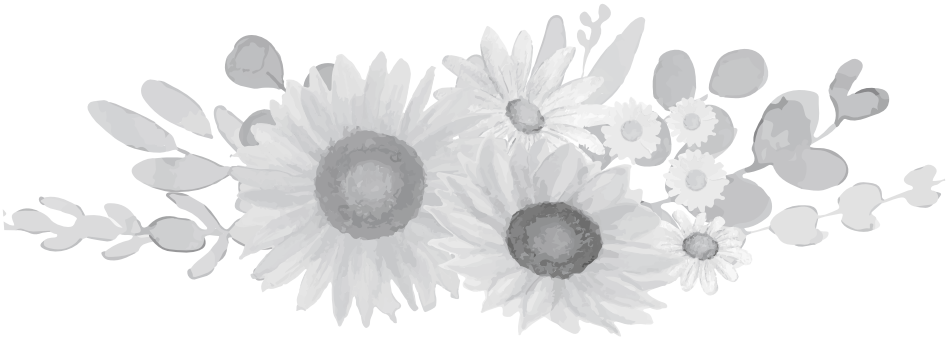
INFORMATION

浦河ロータリークラブ

2021年7月1日より幹事・事務所及び電話番号等が変更になります。

【新 幹 事】　佐野　元健 会員

【新事務所】　〒057-0026
浦河郡浦河町字向別377-5
㈱日高トータルサービス内
TEL：0146-22-2154　FAX：0146-22-0772
E-mail：hidakatotal@fine.ocn.ne.jp



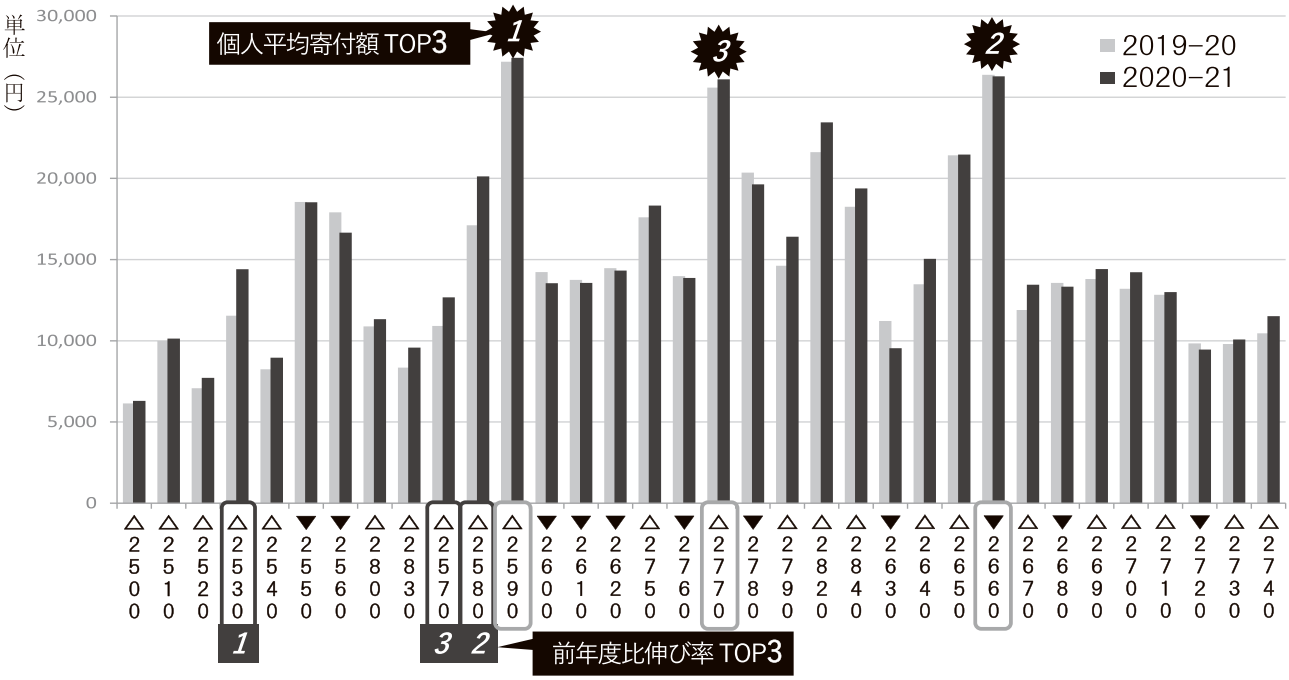
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライトよねやま

Vol.256
2021年7月13日
発行

1. 2020-21年度 寄付金結果

2020-21年度の寄付金は約13億3,600万円でした。新型コロナウイルスの影響から寄付状況が危ぶまれましたが、最終的には前年度比0.04％増（普通寄付金：1.4％減、特別寄付金：0.7％増）と約50万円の増額で、ほぼ2019年度並みの寄付結果となりました。社会的、経済的にまだ落ち着きを取り戻せていない状況下、多くのロータリアンの方々からご寄付をいただいたことにより、2020年度予算額13億３千万円を達成することができました。心より御礼申し上げます。今年度も引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



個人平均寄付額 TOP３　【全国平均：15,516 円】

1 第 2590 地区：27421 円　2 第 2660 地区：26279 円　3 第 2770 地区：26097 円

前年度比伸び率 TOP３

1 第 2530 地区：124.6%　2 第 2580 地区：117.5%　3 第 2570 地区：116.0%

2. 学友会セミナー開催報告

６月26日、国内外の米山学友会代表者が参加する学友会セミナーをZoomで開催しました。当日は、齋藤直美理事長から学友会へのメッセージ、事務局から個人情報保護や提出書類に関する説明のあと、韓国（キムデイル幹事長）、マレーシア（黄麗容会長）、第2620地区（上野佳子会長）、第2660地区（ミンスラ会長）が、それぞれ学友会の特長となる活動紹介を行いました。続いて、４グループに分かれて「コロナ禍における学友会活動の工夫」をテーマとするディスカションを行いました。その後、全体セミナーに戻って質疑応答、第３回世界大会の告知（朴貞子実行委員長）、駒井英基常務理事/学友・学友会担当理事の挨拶で閉会となりました。水野功副理事長、井原實常務理事（いずれも選考・学務担当理事）にもご参加いただき、オンラインではありましたが、３年半ぶりに同セミナーを開催することで、他学友会の活動や課題を全員で共有する有意義な会となりました。

3. 米山初の紺綬褒章受章者が誕生！

国際ロータリー第2630地区（岐阜県・三重県）上野ＲＣの丸山統正（まるやまむねまさ）氏（写真右）が５月29日、紺綬褒章を受章しました。７月６日の同クラブ例会にて褒章伝達式が行われ、出席した当会の水野功副理事長から丸山氏へ褒状が贈られました。

丸山氏は昨年６月、長年にわたって収集してきた故平山郁夫氏の版画を売却した代金の一部を当会へご寄付いただきました。この多大なご支援により、当会から国へ紺綬褒章の授与対象として申請し、閣議決定を経て、このたび紺綬褒章授与が決定しました。

紺綬褒章は公益のために私財を寄付し、その功績が顕著な個人や団体に対し、天皇陛下から授与される褒章です。当会では2018年９月に紺綬褒章の公益団体認定を受けて以来、初めての受章者が誕生したこととなります。心よりお祝い申し上げます。

【丸山氏からのコメント】このような大きな褒章をいただき、身に余る光栄です。私は若い頃から平山郁夫さんの版画を長年収集しておりました。戦争を憎み、人類は一つであるとの信念から、平和への祈りを込めて多くの作品を描いた彼の思いに深く共感していました。また、私自身がこのクラブで４度も米山委員長の担当となり、米山奨学事業の目的と平山さんの理念に相通ずるものを感じて、今回寄付に至った次第です。すべての皆さまに感謝申し上げます。

4. レンタルします！ ― ロゴ旗＆タスキ ―

今年度からロゴ旗および学友・奨学生用タスキを新たに作りました。ご希望の方に無料で貸し出しいたします（返送料のみご負担ください）。ロゴ旗は大小２種ありますので、地区大会の壇上や例会会場などでご掲揚ください。タスキは、学友や奨学生が集まるイベントや奉仕活動の際にぜひご活用ください。いずれも数に限りがあり、使用後は速やかにご返却ください。お申込みは①送付先②ご要望の品名（タスキの場合は希望本数）③使用日を記載のうえ、当会広報担当highlight@rotary-yoneyama.or.jpまで

5. 50周年記念誌頒布終了のお知らせ

財団設立50周年を記念して制作した『ロータリー米山記念奨学会50年のあゆみ』は、おかげさまで６月末をもって頒布を終了しました。ご購読いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。残部につきましては今後、研修資料として適宜活用する予定です。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011　東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F
Tel：03-3434-8681　Fax：03-3578-8281
E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津（のづ）・峯（みね）

地区カレンダー　8月・9月

8月　会員増強・新クラブ結成推進月間

1	日	
2	月	公式訪問（札幌南RC、札幌はまなすRC）
3	火	公式訪問（札幌清田RC、札幌大通公園RC）
4	水	公式訪問（新札幌RC、札幌真駒内RC）
5	木	公式訪問（札幌東RC）
6	金	公式訪問（札幌幌南RC）
7	土	公式訪問（札幌手稲RC）
8	日	山の日
9	月	山の日振替休日
10	火	公式訪問（小樽RC、蘭越RC）
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	
18	水	公式訪問（倶知安RC、余市RC）
19	木	公式訪問（岩内RC、小樽銭函RC）
20	金	公式訪問（小樽南RC）
21	土	
22	日	
23	月	公式訪問（長沼RC）
24	火	公式訪問（千歳セントラルRC、北広島RC）
25	水	公式訪問（恵庭RC）
26	木	公式訪問（千歳RC、由仁RC）
27	金	
28	土	財団補助金管理セミナー（札幌）
29	日	
30	月	公式訪問（三石RC）
31	火	公式訪問（様似RC、浦河RC）

9月　基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間

1	水	公式訪問（静内RC）
2	木	公式訪問（えりもRC）
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	公式訪問（伊達RC、室蘭北RC）
8	水	公式訪問（室蘭東RC、登別RC）
9	木	公式訪問（室蘭RC、洞爺湖RC）
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	公式訪問（函館亀田RC）
14	火	公式訪問（函館セントラルRC、七飯RC）
15	水	公式訪問（長万部RC、森RC）
16	木	公式訪問（函館RC）
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	敬老の日
21	火	
22	水	
23	木	秋分の日
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	公式訪問（白老RC、苫小牧北RC）
29	水	
30	木	公式訪問（苫小牧東RC）

2021年8月のロータリーレートは地区HPをご覧下さい。

米山奨学生の紹介

徐夢萍（中国）
北海道教育大学・札幌ライラック RC

感謝の気持ちを忘れずに

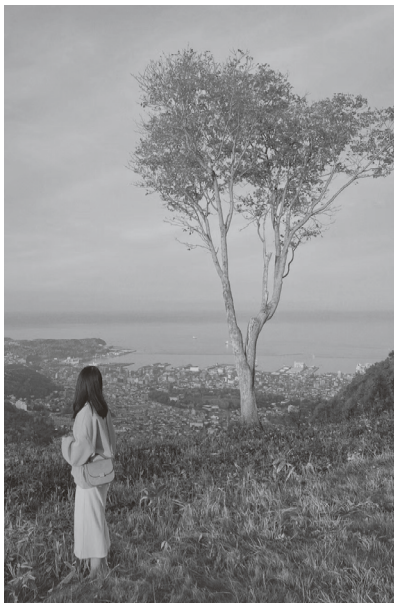
▲新制作展入選作品前の私（新国立美術館）

私は子供時代から絵を描くことが大好きです。時間がある時にはいつも自分が好きなものを描いたり、いい評判をもらいました。高校生から美術について勉強を始め、大学時代はデザインの専門を選びました。いろいろな絵の具と絵画の技法を用いて美しい絵を描き出すことは、非常に素晴らしいと思います。いつか日本に留学したいので、大学期間中土曜、日曜は中南財経政法大学の日本語の授業を受けました。副専攻として日本語の学位も取りました。

日本は美術教育に関する研究が盛んで、優れた研究成果が数多くありますから、私は日本のこの分野について研究したいと思います。日本には国際芸術祭の文化が面白く、沢山素敵な作品との出会いが楽しいです。また、日本の大学では、学力だけではなく、人間性が鍛えられ、社会に出てから役に立つと、世界中から高い評価を得ています。私は自分の専門スキルと人間性を鍛えるため、大学院教育に通じて、美術教育について深く学びたく北海道に来ました。最初に訪れたのは雪が降り始める頃で、慣れない雪との生活は大変でしたが、周りの人々はとても優しく、日々の生活でも色々と助けられています。冬だけではなく北海道の四季を通じて北海道がとても大好きになりました。

最近、作品主には日常生活の中で出会えた景色、暖かい色や光、心中に悩む事などを描きました。美術を学ぶ始めに、鈍感な自分でも観察力と感性な部分が強くなりました。このおかげで、夜空を見ると突然な悲しみを感じしたり、電車乗る時窓外の風景見て笑ったり、映画を見ると泣いたりなど繊細な少し変な人間になりました。去年の７月に「雨過天晴」をテーマして、夏の季節に扇子や団扇に描いた私の日記のような作品で札幌市で個展を開催しました。「うかてんせい」の意味は物事の悪い状況や状態がよい方向へ向かうことです。

大変な時期で研究と作品の制作を苦戦しています。しかし今まで私を応援くれた人々のために感謝の気持ちを伝いたいと留学生としての自分はこれまで一体何を学んだかをアピールしたいので、今年の８月26日から29日に札幌市民交流プラザ（２階）で個展の予定があります。未熟な作品ですが、もしお時間があればぜひ見に来てください。みんなの無事と１日も早く新型コロナウイルスが収束するのを祈るばかりです。



▲秋の小樽

▲研究室で作品制作の

表紙の解説

日本初の公許女医第号となった『荻野吟子』は、埋想郷の建設を夢見て移住した夫の志方之善の後を追って北海道に移住。その後の明治30（1897）年に瀬棚村（現在の瀬棚区本町）で産科・小児科荻野医院を開業。開拓移民の医療に従事す るとともに淑徳婦人会を結成し、病気や怪我 、災害時の対処方法を教えたとされる。旧瀬棚村の医療・文化・教育面につくした輝かしい功績を後世に永く伝える為、せたな町ゆかりの偉人として記念碑や資料館を町内3か所に設置。昭和51 （1976）年に吟子が瀬棚で詠んだ詩と「萩野吟子開業の地」標柱を建立、昭和42（1968）年北海道開道100年を記念して女史の顕彰碑を建立、その後顕彰碑は平成12（2000）年6月に移設され「荻野吟子公園」として整備。生涯学習センターでは資事展示室を設け、吟子が日常生活で使用した遺品や貴重な資料が展示されている現在吟子の名は、地酒の銘柄「吟子物語」となり、また、せたな町立国保病院瀬棚診療所は「荻野吟子記念せたな町医療センタ」として町民に親しまれている。

Rotary District2510